

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和3年度第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議		
開催日時	書面開催		
開催場所	—		
出席者	(創生会議構成員) 阿部亮吾、伊藤欽治、岩田信男、岡澤圭悟、方喰理将、 加藤亮二、熊崎正作、近藤知子、野田一弘、萩原悦次、 久田敏之、丸山一芳、水谷海斗、湊 裕、鰐部兼道 ※50音順、敬称略 構成員に対して、意見徴収を行った。		
次回開催予定日	令和4年9月頃		
問合せ先	政策推進部企画政策課 担当 木戸 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約 ・書面報告結果	要約した理由	書面開催のため
審議経過	【議 題】 1 みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について 2 みよし市SDGsオリジナルロゴマーク制作事業について 【結 果】 回答書が提出され、別紙のとおりとりまとめを行った。		

第 1 回みよし市まち・ひと・しごと創生会議 回答書のまとめ

協議事項 1 みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

(1) 第 1 期総合戦略の検証について【資料 1－1】

基本目標 I 安心して子育てできる環境づくり

○質疑 なし

○意見

提出者氏名	御意見
久田 敏之	コロナ禍で子育て・教育ともに悩んでいる人が多いと思います。また、仕事と子育てを含む生活においても苦勞されている人も多 いと思うので、対策は様々講じていると思いますが心のケアも含めてサポートをお願いしたいと思います。

I－①結婚・出産の希望に関する支援

○質疑・意見 なし

I－②子ども・子育てに関する支援

○質疑

提出者氏名	御質問	回答
阿部 亮吾	児童館・集会所の年間延べ利用者数、子育てふれあい 広場利用親子組数が、平成 28～29（2016～2017）年度を 境に減少傾向にあります。 その要因を「利用対象となる 18 歳未満の子どもの人口 減少、子どもの余暇の過ごし方の多様化が影響」してい ると評価しているようですが、わずか数年の違いでその ようなドラスティックな変化が生じるのでしょうか。例 えば、子どもの人口減少という要因を出してきています が、この間の子どもの減少率と利用者数の減少率は正し	本市における子どもの健全な遊び場である「児童館・集会所」や 子育て中の親が交流等を行う場である「子育てふれあい広場」は、 子育て支援の面から重要な施設であり、日頃から魅力のある施設づ くり努めています。 御指摘いただきましたとおり、児童館・集会所利用者数は H28～ H30 実績で 9.1%、子育てふれあい広場利用親子組数は H29～H30 実 績で 7.1%と、新型コロナウイルスの影響を受ける前からともに減 少傾向に転じています。 利用減少の主因の一つとして述べた「子ども人口」について、0

	く比例していますか。子どもの余暇の過ごし方が多様化していることなど、ここ 20 年以上すでに研究でさんざん指摘されている部分ですが、みよし市においては数年前に突如そのような現象が発生したのでしょうか。 また 6 ページで、その理由に「新型コロナウイルス感染症拡大の影響」を持ち出していますが、3 ページのグラフを見る限りコロナの流行が始まる 2020 年 1 月以前から利用者数は明確な減少傾向にあったため、コロナは利用者減の主因ではなく、それ以外のところに原因を求めないといけないように思います。 コロナを持ち出すことであたかも免罪符のようになり、本質を見誤るような危険性を感じます。こうした施設の魅力や改善点が本当はどこにあるのかを考えることが、行政として本当に必要な行為ではないでしょうか。	～14 歳人口で比較しますと、H28～H30 実績で 3.7%（10,240 人→9,864 人）減少しております。また就労する親についても増加傾向にあり、子どもの余暇の過ごす場所が、家や児童館等から保育園や放課後児童クラブ等に転化する傾向もみられます。保育園入所児童者数は、市児童育成計画によると H28～H30 実績で 10.6%（1,136 人→1,256 人）の増、また、本資料 5 頁に記載のとおり、放課後児童クラブ利用者は 11.6%（370 人→413 人）の増となっております。 （※新型コロナウイルスの影響で令和元年度（令和 2 年 2 月）以降、施設の利用制限を行った期間があるため、ピーク年度と平成 30 年度の値との比較でご説明をさせていただきました。） また、年少人口は第 1 期総合戦略の計画期間（H26.4～R3.4）中全体で 14.5%（10,731 人→9,173 人）と大幅に減少しており、今後も利用者が一層減少傾向に向かうことが予想されますが、子ども達が安心して過ごせる居場所を確保するため、今後もより利用しやすい施設づくりを継続していきます。
岡澤 圭悟	取組内容に「医療費助成対象の拡大」とあるが、具体的に何ですか。隣町の東郷町は 18 歳まで自己負担分を助成していますがみよし市はしないのですか。	第 1 期期間中の令和元年 4 月に、これまで 15 歳の年度末到達までが対象となっていた子ども医療費支給制度について、一部を拡大し、新たに高校生相当年齢の入院費用の支給を対象としました。

○意見

提出者氏名	御意見
近藤 知子	「児童館・集会所の延べ利用数」について。コロナ禍ということもあり、H26 より R2 の実績が下がっていますが、小学生の放課後の過ごし方の多様化による利用延べ人数の低下もあると考えられるので、せっかく利用しやすい施設となっている地域の児童館を、未就園児・未就学児親子も使いやすい運用になると、コミュニティの場になるのではないかと思います。その辺も地域格差があるように思います。

I-③学校教育の充実

○質疑 なし

○意見

提出者氏名	御意見
阿部 亮吾	「郷土を愛しともに学び合う」学校づくりの評価指標が「1. 少人数学級」「2. 学校が好きか」「3. エアコン」では、施策の基本的方向とK P I の間にあまりにもずれが大きいのと思います。 たとえば、子どもの郷土愛を本当に調査したいのであれば、そのような分野の研究もありますので、地元大学と協力して子どものみよし市に対する郷土愛調査を毎年（あるいは隔年）実施するなどして、分析してみてもはどうでしょうか。 すでに終わった第1期の指標ですので特段修正意見ではないですが、もう少し施策の基本的方向性とK P I が有機的に関係するように、今後は考えていただきたいと思います。

I-④仕事と生活の調和に関する支援

○質疑

提出者氏名	御質問	回答
阿部 亮吾	「3歳児未満の入園希望者と入園したい保育園を限定したことに伴う待機児童の増の影響もあり、目標値には達していません」という1文の意味について。特に因果関係が良くわかりませんでした。	「3歳児未満の入園希望者<u>と</u>」を「3歳児未満の入園希望者<u>が</u>」に訂正をさせていただきます。 3歳未満児の保育園利用条件を平成27年度から段階的に緩和(保護者の労働時間の下限を140→60時間に引き下げ)したことに伴い、一時的に待機児童が増加し、入園者数の目標値と実績値が乖離しましたが、平成30年度以降待機児童は減少傾向にあり、実績値は目標値を下回りながらも目標値に徐々に近づいております。 また一方で、説明文のとおり、入園を希望する保育園を限定するため、希望以外の園に空きがあっても入園を見合わせている児童(いわゆる「隠れ待機児童」)は潜在的に一定数存在しており、これらが入園児の数を低くする原因にもなっています。

○意見 なし

基本目標Ⅱ 暮らしたいと思える環境づくり

○質疑

提出者氏名	御質問	回答
阿部 亮吾	「安全で快適な住環境が整ったまちづくり」の満足度が平成30（2018）年度を境に下降傾向を示しており、その原因を「交通の便の悪さ」と「買い物の場所の少なさ」に見出しているようです。 交通の便については以前から指摘されていることですが、わずか2年で急速に満足度が悪化している原因は为什么呢。また、買い物場所については、今後駅前開発とも関連付けるべきことがらのように思います。 9ページの「駅乗降者数」が堅調に推移していることに鑑みると、その必要性は将来的にますます高まっていくでしょう。	「安全で快適な住環境が整ったまちづくり」について、「やや不満」「不満」と回答した人は下記のとおりであり、令和元年以降、明らかに増加傾向にあります。 平成29年度 10.8%（やや不満 9.1%、不満 1.7%） 平成30年度 7.6%（やや不満 6.3%、不満 1.3%） 令和元年度 18.2%（やや不満 13.0%、不満 5.2%） 令和2年度 21.4%（やや不満 15.9%、不満 5.5%） この2年で急速に満足度が悪化している原因そのものを突き止めることは困難ですが、令和元年度以降のアンケートの自由回答では「交通の便の悪さ」が最も多く、次いで「買い物の場所の少なさ」が挙げられています。 交通の便の悪さを解消するため、令和4年度春にさんさんバスを再編し、より利用しやすい公共交通の整備を図っていきます。

○意見

提出者氏名	御意見
久田 敏之	本市は多くの人が集まれるテーマパーク的な公園が少ないと思います。コロナ禍で移動が難しい中、収束したとしてもより多くの人が気軽に遊べる公園の整備が若い世代の流入にも繋がると思います。

Ⅱ－①多様な世代を誘引する仕組みづくり

○質疑

提出者氏名	御質問	回答
阿部 亮吾	「「起業・創業件数」「新たな進出企業数」については、ともに実績値が目標値を上回っています」とのこと	「起業・創業件数」の令和2年度累計29件の内訳は、サービス業が12件、飲食店が9件、製造業が4件、その他が4件となっていま

	ですが、具体的にはどのような職種や規模の企業が起業・創業・進出したのでしょうか。内訳などが知りたいです。	す。また、「新たな進出企業数」3件の内訳はすべて自動車関連の中小企業となっております。
岡澤 圭悟	取組内容に「住宅取得に関する支援」とありますが具体的に何ですか。 また、美しいまちづくりを目指すのであれば、他の市のように外壁塗装への助成などみよし市はしないのですか。	「住宅取得に関する支援」の具体的な取り組み内容としては、住宅に関する相談窓口の設置、空き家対策、住宅取得に対する税の軽減措置等を行っています。また、県内でも数か所の自治体が遮熱塗装への助成を行っているようですが、本市においては現在のところ導入の予定をしておりません。
熊崎 正作	三好ヶ丘駅周辺への大型商業施設の誘致が喫緊の課題ではないでしょうか。	三好ヶ丘駅周辺は交通利便性が高い地域であり、土地区画整理事業により都市基盤が計画的に整備され、高い居住環境が形成されています。その居住環境を保全するとともに、駅周辺での店舗、飲食店、スーパー等生活利便施設を中心とする都市機能が充実したまちの形成を図っていきます。

○意見 なし

Ⅱ－②公共交通ネットワークの確保

○質疑 なし

○意見

提出者氏名	御意見
久田 敏之	コミュニティバスの利用については無料で利用できる市もあると聞いています。交通の便が悪いと答える人も少なくないので高齢者対策も含め利用しやすいものになれば無料も良いと思います。検討願います。
水谷 海斗	みよし市の人口は年々増加傾向にあることや、住宅着工件数が増加していることから、バスの運行本数の増加などを検討しても良いと考えます。また、高齢者の自動車運転事故の増加が問題となっている中、運転免許の自主返納を促進する取組なども全国的に行われています。みよし市としても自主返納を呼びかけ（イベントの開催やパンフレットの配布など）バスなどの交通手段を積極的に活用してもらうと同時に、公共交通対策の満足度（利便性）向上を図る施策を重点的に行っていくことが、安全で快適なまちづくりには欠かせないと考えます。

Ⅱ－③安全・安心なまちづくり

○質疑

提出者氏名	御質問	回答
熊崎 正作	防犯力向上策として、防犯カメラの拡充が必要だと考えます。特に市が管理する「遊歩道」への新設を要望します。	現在、防犯カメラの設置については「みよし市防犯カメラの設置及び運用に関する条例」に基づき設置をしています。 また、地域防犯のために必要な場所に防犯カメラを設置する行政区に対して「みよし市防犯カメラ設置費補助金交付要綱」に基づき、補助金を交付し、設置しています。

○意見 なし

Ⅱ－④魅力と活力のあるまちづくり

○質疑 なし

○意見

提出者氏名	御意見
阿部 亮吾	シティプロモーション動画閲覧数の「累計」が伸びており、目標値を上回っていると評価されていますが、この手の数値は累計ではなく年度ごとの閲覧数も合わせて見るべきではないでしょうか。 例えば、平成 28（2016）年度と平成 29（2017）年度を見ると、平成 29 年度の年間閲覧数は 8,000 回と計算できますが、平成 30（2018）年度は 3,839 回、令和元（2019）年度は 3,447 回、令和 2（2020）年度は 3,528 回と、統計を取り始めてから年間閲覧数は徐々に低下してきています。そう考えると、視聴者から内容が飽きられているか、1 度見れば十分と見做されている可能性があり、「魅力あるまちづくり」を考えた場合、そうした推移こそを注視すべきように感じます。今後ご検討ください。
阿部 亮吾	市内の N P O 法人数が横ばいです。その要因を「団体の法人化への意識の醸成」が不十分であることに求めているようです。たしかに、N P O 法人の設立は市民団体にとってもハードルが高く、名古屋市のような大都市ならいざしらず、行政からのかなりの支援やインセンティブでもつけない限り、みよし市の規模ではなかなか法人は増加しないのではないのでしょうか（私は N P O 研究の専門家ではないのでこれ以上のことは言えませんが）。 なお、地域活性化は、必ずしも N P O 法人数によって議論されるべきではなく、ボランティアを含む多様な市民団体が数多く

	生まれ、活発に活動していることも大切なように思います。そうした（法人に限らない）市民活動を積極的に支援することも、みよし市にとっては実り多いように思われますが、どうでしょうか。
熊崎 正作	過去、全国 1 位になった「全国一住みやすい街」を目標にトレースしていく体制整備が必要なのではないのでしょうか。
水谷 海斗	シティプロモーション動画閲覧数は確かに向上してはいますが、最後の投稿から 4 年が経過しているため、新しいプロモーションの動画が必要だと感じました。 また、近年ではＴＶ離れが加速し、YouTube などのメディアを視聴する行為が普及しているので、広報のあり方もそれに合わせて変化させていく必要があるのではないかと思います。例えば、市として YouTube チャンネルを制作し、積極的・継続的に市の魅力を発信する動画をアップしていくとともに、ＳＥＯ（サーチエンジン最適化）対策を意識して閲覧数を伸ばすことで、みよし市の魅力が多く、そして幅広い年齢層に伝わるのではないかと思います。

基本目標Ⅲ 誰もが健康に暮らせる環境づくり

○質疑・意見 なし

Ⅲ－①健康づくりの支援

○質疑 なし

○意見

提出者氏名	御意見
阿部 亮吾	「トレーニングルームの年間利用者数」が平成 30（2018）年度をピークに過去 2 過年度は減少している要因を、「令和元年 2 月以降のコロナウイルス」による休館が影響したと評していますが、コロナの流行は令和 2（2020）年 1 月以降なので、本格的な影響は令和 2 年度に入ってからだと考えるべきです。 いずれにせよ、単純にこの部分「」内の和暦は誤植だと思われますので訂正いただきたいのですが、そうだとすると、令和元（2019）年度の利用者数が前年度に比べて 2,000 人も少なくなっているのはなぜでしょうか。単純にコロナに原因を帰すのは早計だと思われます。こうした減少こそ、きちんとした検証が必要ではないのでしょうか。
岡澤 圭悟	トレーニングルームの利用が過去最高であることや市内で大きなマラソン大会を開催していることなど、とても素晴らしいと思います。継続して下さい。

Ⅲ－②生きがいくりの支援

○質疑 なし

○意見

提出者氏名	御意見
丸山 一芳	生涯学習講座の開催数減少にはコロナの影響から対面でのコミュニケーションが難しい状況が理由として挙げられています。しかし、多くの企業でリモートワークが実施され、大学でもリモート講義を開始して一年半が経過しています。 生涯学習講座においてもD X（Digital Transformation）についての講座が必要になりますし、講座担当者や講師の認識も早急にD Xに対応する必要があると思われます。また、リモート生涯学習講座を実施する際にはリモート講義に関する事前講座など講師にも、受講者にも早急に対応が必要な時代であると思われます。

資料 1－1 全般への意見

提出者氏名	御意見
加藤 亮二	取り纏めおつかれさまでした。コロナ禍の影響を受けた項目が多くありますが、回避できないもの（バス利用、図書館来館者数等）、web 等の活用により代替が可能なものがあるかと思います。 With コロナの中で、指標を設定した本来の目的に合致するような取組みを適宜導入するなど、柔軟な対応を行い、市が目指す目標達成に近づけることを期待しています。

(2) 第2期総合戦略の検証について【資料1-2】

○質疑

提出者氏名	該当箇所	御質問	回答
阿部 亮吾	数値目標・K P I 一覧 Ⅱ-① 多様な世代を誘引する仕組みづくり 「暫定用途地域の面積」	Ⅱ暮らしたいと思える環境づくり「①多様な世代を誘引する仕組みづくり」の暫定用途地域の面積で、令和元年度（基準値）が34ha、令和2年度末が29haもあって、逆に令和7年度（目標値）が6haと基準値に比べてかなり低くなっているのはどのような理由からでしょうか。	本市では平成30年度に暫定用途地域の解消に向けた事業を開始しました。令和元年度からひと地区ずつ順番に地権者への意向調査を行う等、解消に向けた取組を計画的に進めています。今年度中に19ha（弥栄地区）の暫定用途地域の用途変更を進める予定であり、暫定用途地域の面積は10haとなる見込みです。令和7年度に目標値を達成できるよう今後も事業を進めていきます。
岡澤 圭悟	数値目標・K P I 一覧 Ⅱ-③安全・安心なまちづくり「防災訓練参加率」 「防災講座参加人数」	防災訓練参加率の低さや防災講座参加人数が少ないように感じます。 参加して楽しんでもらえるような防災フェスタなど開催したらどうでしょうか。	尾三消防組合や豊田警察署等と共催し、イオン三好店等でのイベント開催をしています。 本年度は10月30日（土）に「みよし安全安心大作戦2021」を開催する予定です。

○意見

提出者氏名	該当箇所	御意見
片喰 理将	総合戦略冊子P11 Ⅰ-①結婚・子育てに関する支援	「結婚・子育てに関する支援」について。子供に関わる必需品の配付も有効かと思います。（例 オムツ引換券など） また、女性が働かなくても安心できる環境をつくることで、自然と結婚も出産も増えるのではないのでしょうか。そう考えると就労直前の者やフリーターなどに対する教育も重要かもしれません。
久田 敏之	総合戦略冊子P16 Ⅱ-①多様な世代を誘引する仕組みづくり	企業誘致、企業者支援に力を入れて取組んでいただきたいと思います。金融機関として協力できることがあれば支援したいと思います。（個人的な意見ですが）
片喰 理将	総合戦略冊子P17 Ⅱ-②公共交通ネットワークの確保	公共交通ネットワークは通勤通学時間帯における拡充や最短ルート等、便の検討が課題かと思います。（維持費用のこともあるので難しいですが）

熊崎 正作	総合戦略冊子 P22 Ⅲ-①健康づくりの支援 指標	誰もが気軽に取り組める「ウォーキング人口」を数値目標に追加したらどうでしょうか。 少数で特定の人が使用する健康アプリは目標として妥当か疑問を感じます。
水谷 海斗	総合戦略冊子 P25 第9節 本市のSDG s の推進に資 する取組姿勢	住民のSDG s 認知度が分からないので確実なことは言えませんが、SDG s を原動力として第2 期総合戦略人口ビジョンの実現を図る上で、まだSDG s の意味や取り組みの理解を市全体に広げら れていないと感じます。 SDG s が市民に浸透し、理解を深めることができれば生活の質の向上や、地域活性化に繋がると 思うので、市としてSDG s の普及啓発を重点施策に位置付けて、市民向けの啓蒙活動やキャンペー ンといった取組みを積極的に実施すべきと考えます。
加藤 亮二	第2期総合戦略全般	災害やコロナ禍で影響を受けることが回避できないもの等、K P I に対して大きな影響を持つ事象 を想定し明確にするとともに、その際の修正K P I を設定するなど、環境変化の中でも目指すK P I を明確にできれば良いと考えます。

2 みよし市SDG sオリジナルロゴマーク制作事業について【資料2】

○質疑 なし

○意見

提出者氏名	御意見
加藤 亮二	【展開方法】・公用車等にマークをつける ・ 駅等の公共施設への設置、動画放映 ・ 選挙時の投票所への設置 【活用方法】・SDG s の登録もしくは認定制度（SDG s 宣言企業の募集）を行い、その企業が活用できるようにする（HPを作 成し、オープンイノベーションを行う PF の整備） ・上記制度に向けて、企業向け各種セミナー等の情報発信、認定者への付加価値を創出
熊崎 正作	【活用方法】みよし市が発行する各種手帳（保険証、母子手帳 etc）、みよし市とその関連施設の使用する封筒、ハガキ etc への挿 入。防犯パトロール隊、青色灯パトロール、環境美化指導員等の各ユニフォームへの挿入。
丸山 一芳	応募総数が199にものぼったことは素晴らしいことであり、広報効果もあったことと思います。今後も、何かとコンペ方式を導 入し、市内の大学から幼稚園・保育園までの各種の学校などに募集チラシなども送り、多くの関係者が関心を寄せるような仕組み づくりを活発化することが望ましいと思われます。

水谷 海斗	SDG s のオリジナルロゴマークを、グッズや市民啓発品に挿入するだけでなく、市で取り扱うゴミ袋やレジ袋など、日常的に取り扱うものなどにデザインを挿入していれば多くの人からの関心を集められ、理解も深まるのではないかと感じます。
-------	---

3 その他、まち・ひと・しごと創生総合戦略全般にかかる御意見、御質問等

○質疑

提出者氏名	御意見・御質問等	回答
水谷 海斗	今回、みよし市まち・ひと・しごと創生会議の資料を閲覧し、みよし市がどのように地方創生に取り組んでいくかがとてもよく理解ができました。 この総合戦略の実現に向けては、行政だけに任せるのではなく、みよし市に関係する私たちひとりひとりが主体性をもって取り組んでいかなければならないと思いました。そのように考えると、私は学生という立場でこの会議に参加させていただいた中で、みよし市が行おうとしている取り組みに対して学生として協力できる点が多くあると感じています。 具体的には、シティプロモーションを進めるにあたり、「みよし市のプロモーション動画（例えばみよし市の魅力を学生が紹介する動画など）を私たち大学生が市と協力して制作する」「SDG s を認知してもらうイベントやキャンペーンの開催などの企画や手伝いをする」などの役割を担えるのではないかと考えます。学生が目線でアイデアを出し、みよし市と連携事業をすることは、みよし市にとってメリットがあると思いますし、私たちとしても大変貴重な機会になるのに加え、社会との繋がりを感じられる有意義な経験になると思うので、ぜひご検討のほどお願いします。	地方創生は、地方での人口減少を抑制し、各地域で住みよい環境を確保することを目的としており、総合戦略は地方創生を実現するための施策の基本的方向を示したものとなっております。 若者世代を代表する立場である市内大学生の方からの御意見は、本市の地方創生に際し、大変貴重なものとなります。 今回御提案いただきました「シティプロモーション」の推進は、市民のまちへの愛着やシビックプライドの醸成にあたり大変有用なものであり、本市の未来を担う若者からの視点でこれら事業の展開をしていくことで、効果的な事業展開が可能となると考えられます。 本年度秋から、本市の若手職員と東海学園大学の学生による「みよし市SDG s 推進プロジェクトチーム」を組織します。まず、チーム員が「SDG s とは何か」を自ら学び、市民を始めとした外部の方にSDG s を知っていただくための事業提案を行い、それら事業を実施していただく予定で準備を進めております。今回のSDG s 推進プロジェクトはシティプロモーション事業の一環であると考えております。今後も事業展開を図りながら新たな協働事業の実施について検討をさせていただきたいと思っております。

○意見

提出者氏名	御意見
阿部 亮吾	全般的に、「平準化した満足度割合」の計算方法について「普通」の選択数を除外して算出されているようですが、「普通」が多すぎて困るということであれば、「やや不満」と「不満」を足して母数で割る「不満足度」を算出すればよろしいんじゃないでしょうか。そうすれば、当該政策に不満を感じている人の割合の推移が単純に提示され、評価がわかりやすいように思います。 また、「やや不満」と「不満」の割合を積み上げ棒グラフにすれば、「不満」としてくくったもののうち、どちらがより大きな割合を占めているのかも目で見てわかるかもしれません。そうすれば、もう少し詳細な説明もできます。単なる感想です。 端々で書きましたが、コロナを目標値未達成の理由にするのはいささか安易のように思います。コロナの影響は全国共通のものであり、特殊な事情ですから致し方ない部分はあるかと思います。ただ、それ以前からすでに減少してきていた項目については、コロナを理由にすることで、逆にその主因を覆い隠してしまう危険性があります。 「検証」とは、そうした要因を明らかにする行為こそを指すべきだと思いますので、行政として、今後精緻な検証を継続していただければ幸甚です。
伊藤 欽治	昨年来の新型コロナウイルス感染症のまん延により総合戦略の進め方等に大きな影響が出たことは、やむを得ないことであつたと思います。まだまだコロナ終息のはっきりした目途がたっていない現状の中で、余り大きな目標を掲げるよりも、実現可能な数値の少し上ぐらいの目標を設定し事業を推進して頂くと良いと思います。
岡澤 圭悟	書面でなく、オンラインでも開催できると思います。
片喰 理将	回答に「普通」があるものの検証について、「普通」のみ省いた数値で比較するのは精度に問題が出ると思います。
熊崎 正作	みよし市の表玄関である「三好ヶ丘駅周辺」は「衣・食・住」のどれを取っても、ここ数年、余りにも貧弱になり停滞化しています。名鉄沿線の近隣の伸びに比して格差が拡大化しています。大型商業施設等の誘致を早急に実現しないと将来に取り返しが不可能になるのではないかと考えます。
野田 一弘	スポーツ科学科のある三好高校が、生涯スポーツや健康づくり支援の面で地域と交流する機会が役立てればと思います。
久田 敏之	新型コロナウイルス感染症の影響から多くの企業が厳しい経営環境にあると思います。企業に対し補助金等の様々な支援がなされているものの先の見通しが立たない中、不安を抱えている企業も多いので、みよし市独自で支援できることがあればお願いしたい。金融機関として個人的な意見ではあるが、協力ができればと思っています。 三好ヶ丘駅周辺の整備が進められ本当に良くなっていると思います。反面、市役所周辺においては今一つ活気がないと思います。今後、活性化に向けて何か策を講じていただければと思います。

丸山 一芳	第1期総合戦略の検証について【資料1－1】において記述したと関係しますが、今回の会議がコロナ禍の影響で書面会議となっております。しかし、何らかのデジタルツールを使ってリモート会議を開催することのハードルはこの一年半で大きく下がったことと思います。 官庁主催の会議においてもリモート会議での実施は多くみられるようになりましたので、みよし市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においてもDXについて議論が必要でしょうし、こういった会議のデジタル化も議論されてよろしいころだと思われます。
-------	---